

# カナダ セント メアリーズ大学

[2022年10月～2023年7月分]

2013年3月卒業(薬学部)大鳥智史

皆さんこんにちは。

カナダ・ハリファックスにあるセント・メアリーズ大学に留学中の大鳥です。私は既卒生で、就いていた職を辞め、ここハリファックスに来て約8か月になります。私が体験したことについて皆さんに紹介していきたいと思います。

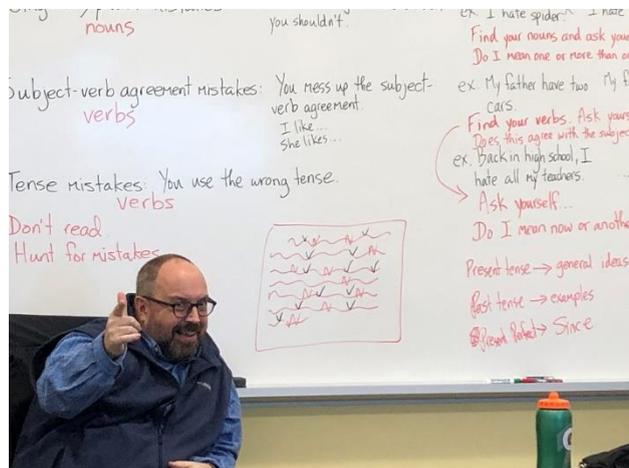


## [授業内容・クラス構成]



私がこれまで受けてきた授業はEPPC(コミュニケーション重視の)コースだけなので、限定的な情報になってしまいますが、EPPCコースでは月～金曜日まで9:00～12:00が午前、1:00～3:30が午後の授業になっています。レベル3～5or6(生徒の数によってはレベル1, 2のクラスも開かれるようです)で分かれており、個人のレベルによって振り分けられる感じです。毎 Semester 開始後1週間はクラス変更の融通が利くので、自分のレベルに合っ

ていないと感じた場合は、担当者に相談することで、ほとんどの場合は自分の希望を通してもらうことが可能です。毎週2日(月・水or火・木)の午後の授業は当初は選択授業だったようですが、現在は選択することはできず、学校側で自動的に振り分けられる形になっています。1 Semester は8週ほどで、確認テストが毎週あるといった感じです。生徒の構成は、これもクラスによるところがありますが、どのクラスも半数以上はアジア圏の生徒で、その中でも日本人・韓国人が大半を占めています。コロナ前は中国からの生徒も多くいたようですが、現在はほとんど見ません。アジア圏外からの生徒も多くはないですが、一緒にのクラスになることもあり、彼らの文化や宗教観なども授業内外での会話などから知ることが出来ます。また、彼らも日本についての好奇心は比較的高いように感じるので、積極的に日本の文化などについて教えてあげると会話のきっかけにもなるかと思えます。



## [課外活動]



授業終了後に語学センターのスタッフが企画したアクティビティも行われており、ダウンタウンへのショッピングのようなものからボランティア、またセント・メアリーズ大学の生徒との英会話コミュニケーションなど、様々な種類のものがあります。現地の大学の生徒と話す機会があるとは思わなかったので、いい経験がすることが出来ました。アクティビティがない週はほとんど無いので、興味のあるものを見つけたら参加するような感覚でも問題ないです。もちろん、授業後に個人でダウンタウンまで遊びに行く時間も十分に取れます。

## [ハリファックス(ダウンタウン)]

ダウンタウンは個人的には十分な大きさで、レストランや雑貨店もあるので特に不便さなどは感じません。ハリファックスには公共交通機関はバスだけしかないので、市外のバスの守備範囲外へは車を持っている友人と一緒にいくなどする必要があります。ですが、意外と広範囲でバスが運行しているので、そこまで不便を感じることはないかと思います。市内には、日・中・韓の料理店もあります。値段は安くはないですが、味噌ラーメンなども食べることができます。

不便はそこまでないと言いましたが、若い人にとっては長期間の留学で退屈を感じる方もいます。遊ぶお店がそこまで多くないというのが大きな理由のようです。私は公園で散歩をしたりすることが好きなので、8か月経った今でも退屈はそこまで感じませんが、そうでないという方は6か月くらいがちょうどいいのかもしれません。



## [バケーション]

ハリファックスからの人気の旅行先は、ケベックやトロント(ナイアガラの滝が人気です)、モントリオールなど。国は違いますが、ニューヨークにも割と近いので選択肢の一つに入ります。ケベックは主要言語がフランス語で、建築様式もほかの地域と違うのも人気の1つになっています。

7月の中旬にこの文章を書いています、気温も20度を超えることも多くなってきました。日本では気温が30度を超すのは今の時期珍しくないと思いますが、ホストファミリー

達は気温が20度前後の日にジーンズで外出しようとする、「なんで半ズボン穿かないんだ、おかしいぞ」とよく言ってきます。ほぼ毎日言ってくるので、1つの挨拶のようになっている部分もあります。冬は氷点下になることは普通だったので慣れるまでは大変でした。ただ、今年の冬は、とても穏やかだったとホストファミリーは言っており、嘘だろと思ったのですが、口調からどうやら本当のようです。アイスストームのため、休校になることも2度ほどありました。

#### [寮・ホームステイ]

セント・メアリーズ大学には寮もあり、クラスメートの何割かは寮生活をしています。ホームステイに関しては、私自身の経験やクラスメートから聞いた話に基づいてしか伝えることはできませんが、それぞれのホームステイ先によると思います。それぞれのホストファミリーごとに、異なるルール(そんなに厳しいものではないと思います)があるので、もしホームステイを選択したなら、到着後はその家のルールなどを最初に確認するほうが良いでしょう。食事肉中心の食生活になるのを覚悟していましたが、野菜もしっかりと摂ることができています。

物価のほうは2023年7月現在 体感的に約2倍です。スナック2つとペットボトルジュースで大体約1000~1200円ほどなので、手に取る前に一旦買うべきか否かを考えることが癖になってしまいました。

#### [最後に]

カナダは本当に多くの国から来た人々がいるので、英語学習だけでなく彼らの文化を知る機会も得ることができます。また昔から移民を多く受け入れてきており、異国籍の人々に対してもとてもフレンドリーに接してくれるので、すぐに馴染めると思います。カナダ留学だけに限ったことではないと思いますが、留学先には異なる年代、異なる文化を持った人たちと英語を勉強しながら交流する機会に溢れています。みなさんの留学の目的は私にはわかりませんが、学習を重視する人も文化交流を重視する人も共に満足できる環境は整っていると思います。私のレポートがほんの少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。

